

# 水文部会2017年度第2回

大石哲

神戸大学

理化学研究所計算科学研究機構

# コンテンツ

- ・体制
- ・2017年度報告
- ・2018年度予定と相談
- ・2018年度水文部会研究会
- ・水工学委員会報告

# 水文部会構成

- 部会長
  - 大石哲(神戸大学・理化学研究所計算科学研究機構)
- 副部会長
  - 鼎先生(東京工業大学)
- 河川部会連携委員
  - 吳先生(富山県立大学)
  - 仲吉先生(東京理科大学)
- 地球環境委員会委員
  - 佐山先生(京大)

# 水文部会2017年度報告

- 水文部会 2017年9月11日(月)12:15～13:00
  - 九州大学ウェスト2号館3階318
  - 参加者8名
- 第18回地下環境水文学に関する研究集会
  - 7月8日(土)～9日(日)
  - 和歌山県立文化会館(中川啓先生)
- 水文部会研究集会
  - 9月29日金曜～30日土曜
  - 鹿児島, 種子島, JAXA種子島宇宙センター



研究会  
西之表市民会館会議室

発表  
鼎先生  
田中颯馬さん  
田村先生  
渡部先生

# 水文部会2017年度報告

- 第2回水文部会
  - 水工学講演会3月7日(水)12:15-13:15
  - 岡山大学 一般教育棟 A31号室
  - 参加者

# 水文部会2017年度計画

- 水文部会セミナー
  - 場所:岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
  - 14時30分セミナー開始
  - リアルタイムの水位予測の精度向上について
    - 話題提供者 立川先生(京都大学)
    - 話題提供者 森山先生(福岡工業大学)
  - 国際エディター, レビューアーから若手へ
    - 話題提供者 国際エディターとして 鼎先生(東京工業大学)
    - 話題提供者 国内学会の編集者として 大石(神戸大学)

# 水文部会2018年度計画

- 第1回水文部会 2017年8月29日～31日
  - 北海道大学(全国大会期間中)
- 第19回地下環境水文学に関する研究集会
- 水文部会研究集会
  - 11月8日木曜～10日土曜
  - 大井川
- 第2回水文部会 11月に北海道だと近すぎる  
ので要検討

# 平成30年度水文部会研究集会

- 大井川



# 平成30年度水文部会研究集会

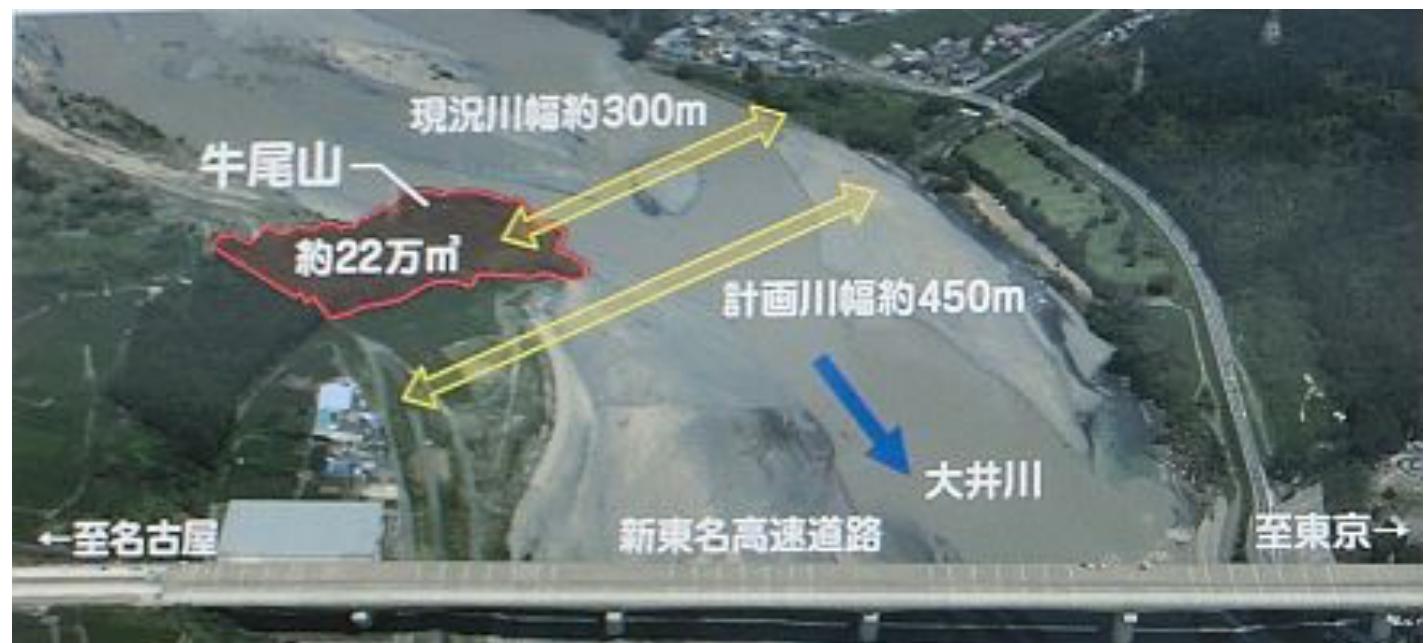
- 大井川



# 平成30年度水文部会研究集会

- 11月8日(木)～10日(土)
- 11月16日(金)～17日？

平成の大改修



# ここで部会員などから 話題・議題があれば

- この後、水工学委員会報告抜粋
  - 体制
  - 今回の水工学講演会の投稿
  - 次回の水工学講演会
  - 水シンポ
  - 水工学に関する夏季研究集会

# 水文・水資源学会30周年記念

- 7月23日(月) 午後
- 中央大学駿河台記念館
- 午前は若手会 予餞会

# 水文・水資源学会

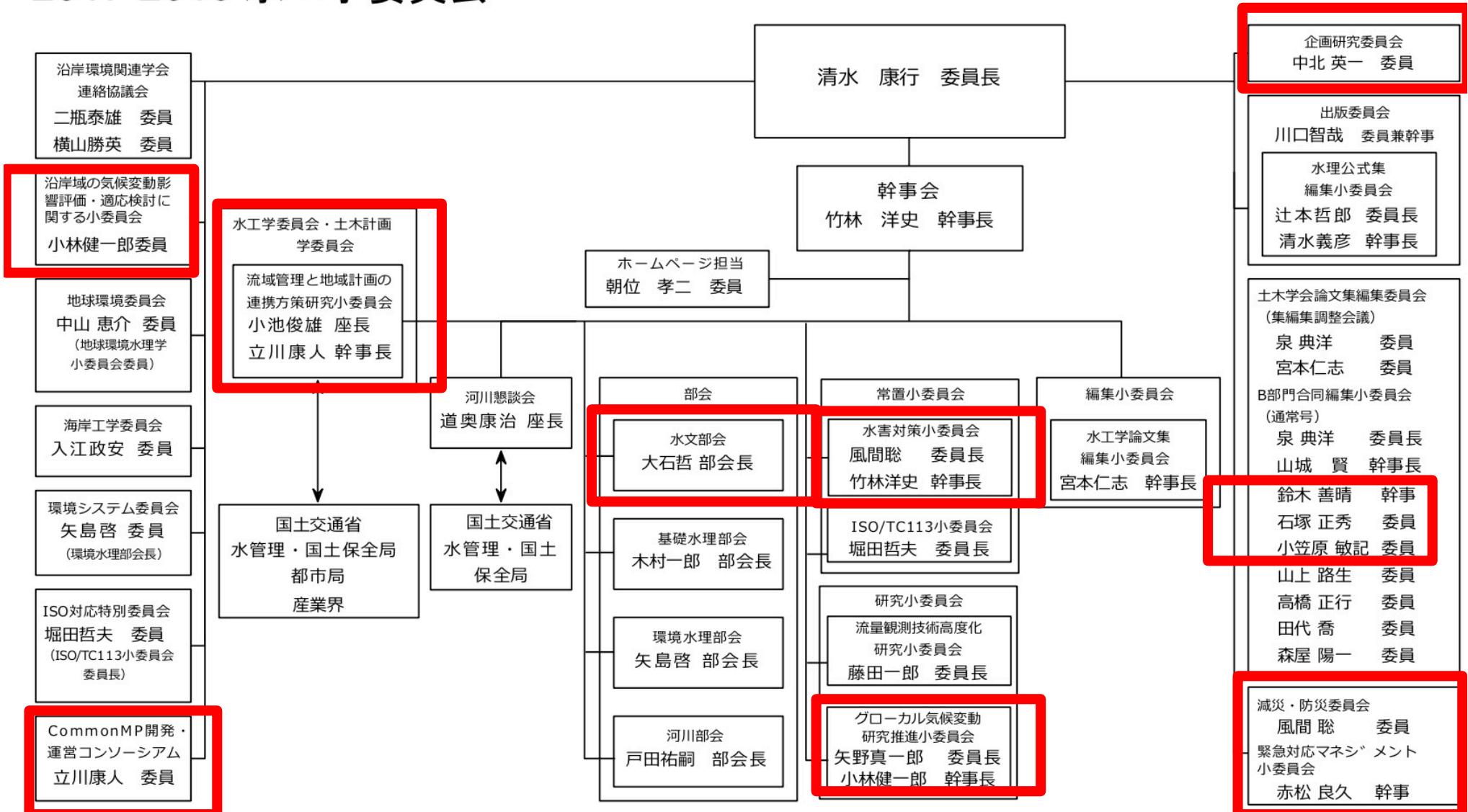
- 年次学術講演会
- 30周年記念学術シンポジウム
- 竹内先生, パネルディスカッション(田中智大先生)
- 9月12日から14日
- 三重大学

# 私から1点 土砂災害に対して

- 風間先生などに
  - 消防は土砂災害に対する活動指針をほしがっている

# 水工学委員会報告抜粹

# 2017-2018 水工学委員会



# 1. 投稿数・採択数

資料2

投稿数:344編 採択数:258編 ※「通常号」からの講演:5編

巻	年	投稿数	採択数	採択率
53	2009	343	255	74.3
54	2010	363	276	76.0
55	2011	379	283	74.7
56	2012	403	301	74.7
57	2013	386	303	78.5
58	2014	348	274	78.7
59	2015	317	250	78.9
60	2016	317	231	72.9
61	2017	327	245	74.9

## 分野別：水文、水災害・防災・減災分野へ多くの投稿！

分野	査読キーワード	キーワード別		分野別		採択率
		投稿数	採択数	投稿数	採択数	
水文	水文気象プロセス	19	13	95	74	77.9
	生態水文	1	1			
	気候変動とリスク評価	21	17			
	降水	13	11			
	流出解析	16	11			
	水文統計／水文情報	9	8			
	雪氷水文	6	6			
	地下水・浸透	10	7			
水災害・防災・減災	流域管理・洪水リスク管理	22	18	83	65	78.3
	水災害・防災・減災	44	33			
	水害・氾濫の水理	17	14			
流砂	流域土砂動態	8	8	44	36	81.8
	流砂	14	10			
	河床形態・流路形態	11	9			
	河床変動	11	9			
河川水理	管路・局所流	1	1	53	40	75.5
	開水路の水理	20	15			
	密度流・噴流・拡散	0	0			
	水理現象の数値解析	14	12			
	流体力・流体振動・波動	2	1			
	観測技術	16	11			
河川環境	河道・流域の環境・環境評価	9	7	41	26	63.4
	流域の流出負荷・河川の水質	7	3			
	水生生物・魚道	16	9			
	河道の植生	5	5			
	河道の物理環境	4	2			
湖沼・ダム、沿岸	湖沼・貯水池の水理と環境	8	4	28	17	60.7
	沿岸・河口域の水理と環境	14	8			
	津波	6	5			
	計	344	258	344	258	75.0

# 平成30年度 第63回水工学講演会 開催計画

- ・日程：2019年11月25日(日)～27日(火)の3日間
- ・場所：北海道大学札幌キャンパス学術交流会館  
(〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/>

- ・幹事：清水康行(北大)・泉典洋(北大)・山田朋人(北大)

# スケジュール(案)

- 5月1日(火) 投稿WEBサイトオープン
- 5月31日(木) 投稿締切
- 6月6日(水), 7日(木) 第1回編集幹事会・小委員会 (査読者選定)      cf. 河川シンポ  
(6/12, 13)
- 6月29日(金) 査読〆切
- 7月9日(月) 第2回編集幹事会・小委員会 (一次査読, 修正依頼, 返却処理)  
(メール審議)
- 7月31日(火) 修正原稿〆切
- 8月21日(火) 第3回編集幹事会 (最終判定, プログラム編成)
- 8月下旬 最終原稿締切
- 9月末～10月下旬頃までに プログラム, 座長確定。その後 CD作成、郵送など
- 11月25(日), 26(月), 27(火) 水工学講演会@北海道大学      cf. 海岸工学(11/14, 15, 16)

# 第63回水工学論文集 編集作業について(会議予定案)

開催日	会議	会場
2018年5月1日(火)	論文投稿受付開始	
2018年5月31日(木)	論文投稿受付締切	
2018年6月6日(水)	第一回編集小委員会幹事会	土木学会??会議室
2018年6月7日(木)	第一回水工学委員会&幹事会 第一回編集小委員会	土木学会??会議室
2018年6月29日(金)	第1回査読期限	
2018年7月9日(月)	第二回編集小委員会(メール審議)	
2018年7月31日(火)	修正原稿締切	
2018年8月7日(火)	第三回編集小委員会(メール審議)	
2018年8月21日(火)	第二回編集小委員会幹事会	土木学会??会議室
2018年8月28日(火)	最終原稿締切	
2018年11月25日(月)	第二回水工学委員会(@講演会)	北海道大学

「第23回水シンポジウム2018 in ふじのくに・沼津」  
プログラム（案）

■ 8月23日（木）第1日目 シンポジウム

会場：プラサ ヴェルデ（500人を想定）

【午前の部：メイン会場（ホールA-2）】

9:00 開場

9:30 開会（30分）

シンポ趣旨説明（2分） 司会

開会挨拶（8分） 実行委員会委員長

実行委員紹介（2分） 司会より紹介、壇上一礼

来賓挨拶（各5分） 中部地方整備局長、静岡県知事、沼津市長

プログラム案内（3分） 司会

10:00 特別講演（50分） 講師未定

10:50 基調講演（60分） 講師未定

11:50 暫休憩

【午後の部：分科会等】

12:50

テーマ別分科会（130分）

第1分科会 担当：土木学会 会場：ホールA-2 510席

第2分科会 担当：行政 会場：ホールA-1 360席

15:00 休憩

15:10 児童生徒・市民団体等による発表（全体会議打合せ）（40分）

15:50 全体会議（60分）

各分科会まとめとメッセージ発信

16:50 次回開催県挨拶（10分）

17:00 閉会

【パネル展示】（会場：プラサ ヴェルデ ホワイエ 利用）

■ 8月24日（金）第2日目 現地見学会（見学先：未定）

定員 約40人を想定

## 平成30年度第54回水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会（担当：水工学委員会、海岸工学委員会）

後援：公益社団法人 土木学会中国支部（予定）

期日：2018年9月10日（木）～11日（金）（A・B並行開催）

場所：山口大学 工学部 D棟講義

テーマ：河川工学における新技術利用（Aコース河川）  
沿岸域における環境研究の変遷とこれから（Bコース海岸）



D講義棟

講師・講演内容  
 (講演順番は調整中,  
 講演題目は仮題)

水工	海岸
最新気象レーダーによる豪雨予測 [京都大学・中北英一]	水質とその対応策の変遷（社会の動きとの関連、考え方の変遷） [横浜国立大学・中村由行]
環境 DNA を用いた河川生物量推定 [山口大学・乾隆帝]	海洋学会では沿岸環境問題をどのように捉えてきたか（比較海洋学など） [国際エメックスセンター・柳哲雄]
GISを用いた流域全体の流木リスク管理手法 [九州大学・矢野真一郎]	土木学会では沿岸環境問題をどのように捉えてきたか？これからの学会間連携等について [大阪市立大学・重松孝昌]
題目調整中 (CONSTRUCTION関係) [国土交通省（調整中）]	水産学会では沿岸環境問題をどのように捉えてきたか？これからの学会間連携等について [瀬戸内水研・濱口昌己]

水工	海岸
題目調整中 (IoT関係) [福岡工業大学・森山聰之]	リモートセンシングによる沿岸環境モニタリング、これまでとこれから [広島大学・作野裕司]
河道のUAV空中写真測量 [山口大学・神野有生]	沿岸数値モデルの歴史とこれからの方針性 [大阪市立大学・相馬明郎]
光技術を用いた水質生態系改善 [山口大学・朝位孝二]	防災と環境（超巨大イベントに対する研究の方向性-防災、市民、行政との関係、東南海地震津波への教訓） [首都大学東京・横山勝英]
調整中	グリーンカーボン（温暖化に関する話題）の歴史とこれから、土木がやるべきこと [港湾空港技術研究所・桑江朝比呂]

## 土木学会論文集B部門合同編集小委員会委員推薦

委員長 泉 典洋 北海道大学

委員 石塚 正秀 香川大学 → 手計太一(富山県立大学)

委員 小笠原 敏記 岩手大学

委員 高橋 正行 日本大学

委員 田代 喬 名古屋大学 → 赤松良久(山口大学)

委員 森屋 陽一 五洋建設株式会社

委員 山上 路生 京都大学 → 音田慎一郎(京都大学)

幹事 鈴木 善晴 法政大学

幹事長 山城 賢 九州大学

## 数年後の土木学会論文集

1. 「通常号」と「特集号」を一体的に運営する。投稿要項・査読要領を統一する。購読者はすべての巻号を閲覧可。
2. 「通常号」の英文論文を飛躍的に増やす。土木学会の名前で発刊しているすべての論文集を、「土木学会の論文集」(和英とも)として戦略的に運営する。
3. 英文論文集は、いくつかのSCI対象論文集に育てる。
4. 「特集号」には、講演会やシンポジウムで発表された論文等を含めて良いが、論文の査読基準は「通常号」と同じ水準を維持する。
5. 一定の要件を満たさなくなった「特集号」は、土木学会論文集(Jstage)から外す。

# 水文部会への入り方

- プロセス
- 卒業生の勧誘

# 水文部会ホームページ

- 更新する

